

8月1日：VN指数は二日続伸

不動産、小売り、日用消費財セクターの今後数か月に期待が高まったために、VN指数は2営業日続伸となった。

VN指数は0.58%上昇し997.39ポイントで取引を終えた。前日と合わせて1.15%の上昇になった。

取引時間中に指数は0.08%ほど下落する場面もあった。

木曜日に、ほとんど改善点を示さなかったFRB会合と米中貿易摩擦の結果に対してネガティブに反応をした。

FRBは25ベーシスポイントの利下げをしたが、今年のさらなる利下げを示唆しなかったことに市場は失望した。

一方、米中貿易対話は何の進展もなかった。

それらの結果に世界の投資家が期待を寄せている中で、ベトナム株にはこれら2つの要因は影響を与えなかったとサイゴンハノイ証券(SHS)は語った。

VN指数は大型株を中心に買いが広がった。VN30指数は0.48%上昇し887.39ポイントで取引を終えた。

ノブランド不動産(NVL)、ビンホームズ(VHM)、ビンググループ(VIC)、ビンコムリテール(VRE)、フーニョアンジュエリー(PNJ)、モバイルワールドインベストメント(MWG)、サイゴンビールアルコール飲料総公社(SAB)、ビナミルク(VNM)など17銘柄が上昇した。

それらの銘柄が不動産、小売り、食料品のセクター指数の上昇を支え、それらのセクターは0.6-2%上昇した。

SSI証券によると、投資家は市場にポジティブな見通しを持っており、下半期の企業業績もマクロ経済の環境もどちらも良いと期待している。

GSO の統計によると、1-7 月の小売り、食料品の売上高が前年比 11.6% 上昇し、1204 億ドルに達しているとのことだった。

猛暑、旅行、文化的な目的に備えて夏にはバイヤーが多くの商品を購入したために、購買力が上昇していると GSO は報じた。それゆえに消費関連企業の業績を上昇させている。

一方、不動産企業は今年の下半期も業績が良いと予想されており、緩やかな融資規制の恩恵を受けているようだ。

しかし市場は金曜日にも困難に直面すると SHS は予想した。VN 指数は 2019 年 4 月に付けた 1000 ポイント付近まで到達しているためだ。

1000 ポイント付近は投資家にとって売りのゾーンになっており、この付近では売られることになるだろうと SHS は語った。

ハノイ取引所の HNX 指数は 0.52% 下落し 103.88 ポイントで引けた。

水曜日には同指数は変わらずで終えていた。

南北両取引所合わせて、出来高は 2 億 4830 万株で、売買代金は 5.52 兆ドンであった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。